

ふじさわ・九条の会ニュース

NO28



発行人 ふじさわ・九条の会 事務局長 斎藤隆夫 0466-35-7104

hp:http://www.geocities.jp/fujisawa_0jo

meil:chibitasaito@jcom.home.ne.jp

市民の力で、藤沢に良識ある市政を取り戻す

市民の推した 鈴木新市長誕生！



一本館前の就任式に臨む鈴木恒夫新市長
2月12日行われた藤沢市長選挙では、鈴木つねお氏が、現職の海老根靖典氏を破り当選しました。投票結果は次の通りです。

鈴木 つねお	51,876 票
えびね 靖典	40,944 票
三野 ゆみこ	22,320 票

今回の鈴木つねお氏の勝利は、4年間の海老根市政の下で、かつては良識の町と言われた藤沢市が、数々の不祥事で全国に有名になる中で、良識ある藤沢市政を取り戻そうと、多くの市民、各界の方々が立ち上がり、鈴木氏の当選を勝ちとったものです。藤沢市民の良識の勝利といえるものです。

＜藤沢市長選挙勝利の要因＞

今回の鈴木恒夫氏の勝利の要因は、次の3点にあるといえます。

- ①、良識ある藤沢市民の力、世論の力が結集した勝利である

- ②、超党派の幅広い力が結集された勝利である。
③、多くの市民を結集できる政策的合意ができた勝利であること。

更に、鈴木恒夫氏が、自民党県会議員でありながら、藤沢のすべての良識を結集するために、昨年11月、自民党を離れ、超党派で市長選に臨んだ事も勝利の大きな要因でした。

＜鈴木新市長、前市長の政策を手直し

市民会館の整備は取りやめ＞

3月5日開かれた藤沢市議会本会議で、鈴木新市長は、早速、海老根前市長が進めていた「公民連携による市庁舎、市民会館、南図書館一体整備は取りやめる」と発表しました。

理由は、次の3点

- ①、市民の意見を十分に聞き計画に反映させる必要があること。
①、3つの公有地を活用して市庁舎、市民会館及び南市民図書館等を一体的に再整備する現計画では、早急に整備の必要性が高い市庁舎整備に時間がかかること。
③、市庁舎再整備に当たり公民連携手法による再整備より従来型の整備の方が早期に可能であること。

＜教科書問題では、速くも巻き返し＞

鈴木新市長の「教育委員問題では、市外から教育委員を招聘するなど公正でない教育委員を改め、市民や教育現場の意見に等しく耳を傾けます」との公約に対し、タウンニュースなどで、育鵬社教科書推進派の人々から、批判する意見広告が相次いで出されています。(小林麻須男)

辻堂文化九条の会

3月13日～18日まで

ふじさわ平和文化展開催



上 佐藤鈴江「えんそく」
右 ひまわり園
Love & peace
「ドラゴン7つの空」
ふじさわ平和文化展
2012.3.13-18
市民ギャラリーにて



辻堂文化9条の会では、ふじさわでは初めてという平和文化展を、3月13日から18日まで、藤沢駅ビル6階市民ギャラリー

にて開催して来ました。6日間で合わせて延べ704名もの方にご来場いただき、実行委員(実行委員長宮本時男)一同感激しております。皆さまのご協力ありがとうございました。

この平和展への出展者は、平和ということを一に据えて、子どもからおとしよりまで幅広く、ジャンルもいろいろあり、すばらしい展示ができました。展示された作品は、やはり震災一周年ということでもあり、津波・原発が中心になりました。中でもフクシマの「残された牛」の絵は特に目をひきました。津波災害を10メートルの絵巻物にした大作の展示もありました。次は自然ということだったでしょうか。山だったり、山里であったりですが、僕はここから原発ではない自然の再生可能エネルギーシフトへの思いを感じ取りました。日々の労働・生活の中での作品も勿論たくさんありました。自分の体験をもと

にした教育現場での戦争教材、思いのこもったキルト、着物をリフォームした普段着などなど、平和文化展ならではの作品です。

ここで一つだけ紹介したいのは、子どもの描いた絵と、子どもを描いた絵です。この左の絵の作者は元保育さんですし、他にも元教師の教材「空襲」の絵などいずれも労働現場の中での作品であり、生き生きとした迫力が伝わって来ました。

この文化展が毎年のふじさわの平和行事になるよう、力を合わせたいと願っております。

(辻堂文化九条の会 山内幹郎)

久保博夫の 沖縄レポート

藤沢市役所を定年になり、再任用職員として半分の仕事をしています。2ヶ月に1週間は沖縄に行けるので昨年12月～今年の3月に懸け、沖縄でのいろいろな行動に参加して来ました。

＜12月は、沖縄県庁での

徹夜の座り込みに2回参加＞

沖縄の人々のすごいところは、やる時は24時間で闘うところです。県庁に入る車のすべてを確認していたのです。宅急便業者での持ち込みがダメだとわかった沖縄防衛局長真部氏が画策したのは、県庁には時間外持ち込みはしないと声明しながら、夜明け前に直接持ち込んだことです。これにあきらめない沖縄人は、個人行動と称して県庁24時間座り込みに入りました。1月4日の仕事始めの日に、一日県庁内で交渉し、翌日、アセスに県の意見はノーで、県民の意見を聞く場を設ける事の確約を取っています。

＜3月は、横浜防衛局にもいた

高見沢氏の裁判＞

高見沢氏(防衛省職員)は、大臣から禁止命令と国会発言以上の事は言えないと逃げました。ヘリ&プロペラ機併用のM22オスプレイの情報を隠すよう米国に言ったのです。市長選で敗れた伊波洋一元宜野濱市長は彼の性格上、明るい声で「油断でした」と言っていました。マスコミも含めて負ける予測は一切なかったのですから。

＜次は、6月の県議選がポイント、

与党に過半数を取らすな＞

アセスへの県知事の意見はノーという事になると思います。しかし6月の県議選挙がポイントになります。与党が過半数になると、知事の反応が鈍くなり、埋め立て申請などで国が動き出すこととなります。その前に、辺野古で逆攻勢の動きが出てきました。辺野古地区の住民の過半数の署名で、テントの撤去を名護市長に申し入れたのです。また時を同じくして自民党国会議員も出していた国場組の会長らの訪米団が、辺野古は受け入れるというアピールを持って訪米する事になりました。そして3・11には、東京の右翼の宣伝カーがテントに押しかけて座り込みの妨害にまで来ています。

これからも沖縄の動きを注目し、支援していきましょう！

鵜沼地域のチラシ撒きで いい汗かきました

ちょっと雨が心配される空模様の18日の日曜日、鵜沼地区で一斉チラシまきを行いました。



雨に降られないうちにと集まってきた人たちは二人組になって、分担地区を確認してそれぞれに出発。事前調査ではマンションは難しいとのことで、普通の住宅地の中をポストインしながら歩きました。戦前は桃と桑の畑だったといわれるところも、今はびっしり住宅になっていて、道はくねくね曲がり、なかなか万遍なく回るのが難しいのが鵜沼です。それでも1時間程せつせつと歩いたら、「いい汗かいたね」とか「毎日これくらい歩けば体にはいいんだよね」などと、すっきりした気分に戻りました。

一斉チラシまきは6回目ですが、重点的にチラシを入れても、なかなか地域九条の会の立ち上げには繋がらない現状です。でも気を長く持つて続けていけば、いつか実を結ぶ時が来るでしょう。

(折原 美知子)

-若者や、子連れママでいっぱい- 湘南ピースウォーク 未来へ歩こう 3・11

東日本大震災と福島第1原発事故から1年のその日、藤沢では「湘南ピースウォーク未来へ歩こう3・11」が約600人の参加で行われました。主催は「イマジン湘南」、昨年「湘南パレード～未来へ歩こう9・11」を開催した実行委員会のメンバーが中心です。

午後2時すぎ、青空が広がりやっと春めいた



日差しが注ぐ中、遊行寺の本堂前で23人の僧侶の読経に始まり、2時46分には鎮魂の鐘が打たれるなか

黙祷。その後奥田公園に向け「原発さよなら未来へ歩こう」などのコールをしながらウォーク。最後はイマジンの大合唱。1歳半の女の子のお母さんは「原発事故以来子どもたちのために何かしなければと思っていた」と友人に誘われ初めて行動に参加した思いを話してくれました。偶然隣り合って歩いた同年代の女性も「孫たちのことが心配で」と一人で参加されたとのこと。これまでアピール行動など縁のなかった方たちが個人個人の思いで集まり、意思表示することができ、きつと大きな変化が始まると感じることができました。1年たった今も被災者の方々の現状は、私たちの大切な憲法に照らしても、人々のくらしや命が脅かされたまま、その上事故の原因究明も進まぬ中、原発の再稼働など許されません。災害は他人ごとでなく、主権者として声を上げ政治を変えるためにいま一歩踏み出すことしかないと痛感しています。(渡辺 慈子)

ふじさわ
九条の会
7周年
憲法ピースパレード

記念講演
&
ピースパレード

平和口を
開いて
歩きましょう

エッセイ
「月桃の花
歌謡団によるエッセイ」

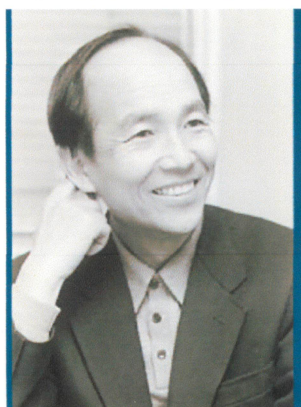
「ナカナンカ」による
アフリカ太鼓ジャンバの奏踊り

日時 **2012年4月7日(土)**

* 記念講演 13:30~(開場 13:00~)
* ピースパレード 16:00~

藤沢市民会館小ホール

参加費
500円
(当日700円)



記念講演が
早乙女
勝元さんに
変更になりました

当初予定していた宇都宮
健児さんは、日本弁護士

会の都合で来られなくなり、早乙女勝元氏さんに講演していただくことになりました。講演のタイトルは「語りつぐ平和への想い、東京大空襲と3・11」早乙女さんは作家で、著書に「早乙女勝元自選集」「東京大空襲」「戦争を語りつぐ」「戦争と子どもたち」ほか多数あります。

＜カンパのお礼＞ 会計より

1月のニュースに同封したお願いに応じて、58人の方から185,000円のカンパをいただきました。心から感謝申し上げます。みなさまからのあたたかいお気持ちとともに、これからの活動に活用させていただきます。有難うございました。
(島田啓子)

第7回
全体集会を迎えるにあたって
事務局長 斎藤隆夫
一若者の心と響きあえる活動を求めて一

3月11日、私は遊行寺から奥田公園までの「湘南ピースウォーク」に参加して歩いた。600人余の参加者のうち400人は60歳未満の若い世代だった。今回の「ピースウォーク」の主催者は昨年9月11日に行動をおこした「原発卒業だヨ！全員集合」メンバーである。若い世代が多いのは当然である。「原発卒業だヨ」と「ピース」との共通項は命の尊厳だといえよう。アジア・太平洋戦争の中で日本人が行った加害としての責任と、戦場と化した沖縄・ヒロシマ・ナガサキそして空襲という悲惨な哀しみの中から憲法九条はうまれた。戦争を知らない世代は憲法九条の歴史的成り立ちを実感できないかもしれない。しかし、戦争を知らない世代が、命の尊厳という共通項をもって「原発卒業」と「ピースウォーク」を結びつけてとらえてきている。

「ふじさわ・九条の会」も、これまでの顔のみえる人と人とのつながりを大切に活動した活動を土台にしながら、ブログやツイッターを駆使して私たちの思いを発信して行きましょう。

第7回全体集会

日時：2012年5月19日(土)
14:00~(13:30開場)
場所：藤沢市民会館第2会議室

＜今後の主な日程＞

- 4月7日(土) 7周年記念講演・パレード
- 9日(月) 9の日行動 サンパール広場
13:30~
- 5月3日(木) 憲法記念日行動
10:30~ サンパール広場
- 9日(水) 事務局、世話人合同会議
18:30 市民活動推進センター
- 19日(土) 全体集会 市民会館第2会議室
- 6月9日(土) 9の日行動 サンパール広場
13:30~